

インド・バラナシ市から引渡し式の模様が届きました

当会のインドでのパートナーである Jan Vicas Samiti(JVS)は、去る 2 月 23 日に彼らの教育施設 (Viswajyoti Guruku) で、90 台の車椅子の引き渡し式を開催しました。来賓の州議会議員、州や国レベルの障害者支援機関メンバーをふくむ 100 名近くが参加して行われました。その様子が届きましたので報告します。

2018 年 9 月には船済み準備できていたインド向け 90 台の子ども用車椅子は、インド側から輸入許可の完全完了後の出港を求められ、結果的には 12 月中旬での出港となり、2019 年 1 月末と大変遅れましたが、最終地バラナシ市に無事到着させることができました。

インド・バラナシ市を中心に活動を展開している Jan Vicas Samiti(JVS)を通し子ども達に車椅子を届けるのは 2016 年に続き 2 度目のプロジェクトとです。今回は配布、引渡し式などを現地運営に任せましたので、現地からのレポートをもとにした報告です。

バラナシ市は日本語表記ではヴァーラーナシー、ベナレスなどと呼ばれることもありますが、紀元前 6 世紀には歴史書に登場する古い街です。特にヒンズー教徒にとってはガンジス河での沐浴、輪廻から離脱できる葬送の地として有名な聖地ですが、仏教四大聖地のひとつサールナート遺跡 (釈迦が初めて説法を行なった) もこの街の郊外にあります。



ガンガー(階段状の親水施設)での夕べの祈り



サールナート遺跡のストゥーパ(卒塔婆)

JVS はインドのキリスト教系全国組織やオランダ政府後援のグローバルな社会福祉団体 リリアナ財団の支援を受けながら、インド国内で障がい児福祉のほか教育、女性問題、障がい者支援、貧困児童対策など幅広い活動を行なっています。

今回の車椅子は JVS のパートナー 10 団体あまりと協力のうえバラナシ市ならびその近郊に住む子供や少年層に配られてそうです。

整理のうへの受益者リストやその写真は後日送られてくるそうです。レポートに添付されていた引渡し式の写真をご紹介します。



2月23日教育施設 Viswajyoti Guruku (<http://www.vjgchristnagar.org/Default.aspx>) の構内にて行われた引渡式の様子。来賓の州議会議員、州や国レベルの障害者支援機関メンバーをふくむ100名近くが参加しました。

このプロジェクトは（公財）日本国際協力財団の支援金を受けて実施しました。有難うございました。

以上